

# 校長通信

東京都立戸山高等学校

校長 布施 洋一

## 卒業生講演会

12月13日(水)、本校講堂で、平成29年度の卒業生講演会が行われました。

卒業生講演会は、社会の第一線で活躍されている本校卒業生を学校にお招きし、生徒に直接お話をさせていただくという進路行事です。本校の同窓会である城北会をとおして、公務員や会社員、自営業や専門職等社会の様々な分野で活躍されている卒業生をご紹介いただき、1年生全員を対象に毎年実施しています。今年は4名の方に在学中の思い出や卒業後のキャリアパス、現在のお仕事の様子等について語っていただきました。

- ① 本校卒業後に得意の英語力を生かしてアメリカの大学に進学し、現在は大手商社に勤務する傍ら外務省の国際貿易課に出向されるなど、世界を舞台に幅広く活躍されている陶山氏。
- ② 在学中は剣道部で活躍し、卒業後は歯学部に進学して歯科医師を目指しながら再生医療の研究もされ、現在は都内で歯科医院を開業しながら様々な国や分野の人々と交流するなど活動の幅を広げている藤田氏。
- ③ 在学中はバスケットボール部で活躍し、卒業後は理工系の大学、大学院を経て大手機械メーカーに就職され、海外勤務や会社の事業戦略の立案等の幅広い経験をお持ちの武田氏。
- ④ 本校卒業後、大学及び大学院で建築史を専攻して海外留学等も経験され、現在は大学教員として後進の指導に当たられる傍ら多くの著書を執筆し、文化庁の専門委員も務めるなど幅広い活躍をされている渡辺氏。

生徒たちは、高い志を持って刻苦勉励し、それぞれの分野の第一線で活躍することで社会に貢献している先輩たちの姿を見て、自らの将来のあるべき姿を具体的にイメージするとともに、戸山高校で学ぶことの意義や今後の高校生活の過ごし方等について考える良い機会になったことと思います。

ところで、4名の卒業生が共通して仰っていたことが二つあります。一つは、「戸山高校で勉強したことが、社会に出てから役に立っている」ということです。国際社会で活躍するためには、幅広い教養と総合力が必要です。外国人に日本の文化について質問されて、「わかりません」では済まないのです。3年間文理別のクラス編成をせず、全ての生徒が文系・理系にかかわらず全ての教科科目を勉強するというのが戸山の教育課程の特色ですが、そのような高校時代の幅広い学習が、社会に出てから役に立つということだと思います。

いま一つは、「人との出会いの大切さ」です。何かをしたいと思っても、自分一人ではできないことには限界があります。理解し、協力してくれる仲間が必要です。そのとき役に立つのが、戸山高校で共に学んだ仲間や先輩・後輩たちとのネットワークです。130年の歴史を持つ戸山の卒業生は、社会のありとあらゆる分野の第一線で活躍しています。そのような戸山生の人脈の広さが、社会に出てから役に立つということだと思います。

本校の同窓会である城北会の会員数は、旧制府立四中時代の卒業生も含めて2万数千名に達しています。卒業生の母校に対する思いは大変強く、公益財団法人である「深井奨学財団」による在校生への奨学金の給付等のほか、昨年からはじめたチーム・メディカル事業でも、現役の医師や医科大学の教授等として活躍されている卒業生に講演会の講師をお引き受けいただくなど、在校生にとって大変力強い応援団となっています。

本校のミッションは「国際社会に貢献するトップリーダーの育成」です。在校生諸君には、高い志を持って、社会の第一線で活躍している先輩たちに続いていってほしいと心から願っています。